

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

**安全保障関連法案の強行採決に断固抗議するとともに、
国民の声を聴き、法案を撤回することを求めます**

政府与党は7月15日の衆議院安全保障関連法案特別委員会で強引に審議を打ち切って強行採決を行い、16日の本会議通過を行いました。

この安全保障関連法案は、多くの憲法学者が指摘するように国政のよりどころとなる憲法に違反し、国民の多くが法案の内容に納得していません。また、安倍首相は「国民の理解はすすんでいる状況ではない」と自ら認めておきながら、政府は強引に成立を図ろうとしています。

こういったことに、多くの国民が抗議の声を上げ、連日国会周辺や全国で市民のデモ行動が起きています。

政治権力が憲法を順守し、国民の多くの意思をくんで政治を行うことは立憲主義と民主主義国家の原則です。

立憲主義と民主主義を守るため、今回の安全保障関連法案を速やかに撤回されることを強く求めます。

私たちは、これからも引き続き廃案を求めて運動を続けます。

2015年7月17日

コープさが生活協同組合 理事会

公明党代表 山口 那津男 殿

**安全保障関連法案の強行採決に断固抗議するとともに、
国民の声を聴き、法案を撤回することを求めます**

政府与党は7月15日の衆議院安全保障関連法案特別委員会で強引に審議を打ち切って強行採決を行い、16日の本会議通過を行いました。

この安全保障関連法案は、多くの憲法学者が指摘するように国政のよりどころとなる憲法に違反し、国民の多くが法案の内容に納得していません。また、安倍首相は「国民の理解はすすんでいる状況ではない」と自ら認めておきながら、政府は強引に成立を図ろうとしています。

こういったことに、多くの国民が抗議の声を上げ、連日国会周辺や全国で市民のデモ行動が起きています。

政治権力が憲法を順守し、国民の多くの意思をくんで政治を行うことは立憲主義と民主主義国家の原則です。

立憲主義と民主主義を守るため、今回の安全保障関連法案を速やかに撤回されることを強く求めます。

私たちは、これからも引き続き廃案を求めて運動を続けます。

2015年7月17日

コープさが生活協同組合 理事会